



### 3/16(火) 卒業式を行いました



この日、ファイト学年45名の卒業式を行いました。

副町長様、保護者の皆様、在校生、本校職員に見守られる中、堂々と卒業証書を受け取った卒業生たちです。

これまでの6年間の思い出、在校生へ託す思い、お家の方や地域の方、職員への感謝の思い、そして、中学校生活や未来に向かっての希望を、呼びかけや歌に込めました。

在校生たちは、思いやりにあふれた6年生を大好きです。その思いを

歌や呼びかけに込めて届けました。お互いマスク越しながらも、体育館いっぱいに歌声や声を響かせました。

式後に学級記念写真を撮り、最後の学級の時間をそれぞれにもちました。最後に、卒業生は校内を一巡し、在校生から送別やお祝いを受けました。玄関から外に出ると、4・5年生からのエール、くす玉の激励がありました。また、保護者の皆様から、盛大な花火を上げていただきました。

### 3/19(金) 一年間の勉強や生活 がんばりました! 修了証はその証です!

#### 〈修了式：児童代表の発表〉

2年松組 K. 〇〇〇

わたしは、かけ算のれんしゅうのことが、心にのこっています。

れんしゅうをはじめたばかりのときは、かんたんな「だん」しかできませんでした。

それから、なんども、Y.さんと4のだんのれんしゅうをしました。けれども、なかなかうまく言えませんでした。もうあきらめようとしたとき、Y.さんが「ぜったいに4のだんをもっとうまく言えるから、もう少しれんしゅうしよう。」と言ってくれました。

その後、またY.さんとれんしゅうして、やっと4のだんが言えるようになりました。うれしかったです。三年生になったら、わり算があるので、それができるようにがんばりたいです。

春休みには、バスケットのれんしゅうや、二年生のふりかえりを、がんばりたいです。

かぜをひかないように気をつけて元気にすごしたいです。



がんばったこの一年、そして来年へ

5年松組 O. 〇〇

3月16日、ファイト学年のみなさんが卒業しました。全校のみんなで心をこめて送ることができたのでよかったです。そして、私はその日、この一年間をふり返りました。

五年生で心に残ったことは、三つあります。

一つ目は、夜の学校を探検したことです。コロナで、保呂羽山に泊まることができなくて、カヌーしかできませんでした。でも、夜の学校探検は、私がやってみたかったことでもあるので、とてもきちょうで楽しい思い出になりました。

二つ目は、調理実習です。前からすごく興味があって調理実習があるたび、とても楽しみでした。一番楽しかった調理実習は、「納豆まんまコンテスト」です。グループのみんなと協力して、楽しみながら納豆アレンジ料

理を作りました。作るのが一番楽しみなので、六年生になっても、調理実習があってほしいです。

三つ目に心に残ったことは、六年生を送る会です。初めて、五年生だけで立ち上げた会でした。最初は、準備にすごくよゆうをもっていたけれど、日にちがせまるにつれて、きんちょう感が増えていきました。六年生を送る会当日は、自分の役割を果たすことができたし、みんなで、六年生を送る会を大成功させることができたのでよかったです。

そして最後に、私が六年生でがんばりたいことは、最高学年として、学校をもりあげていくことです。委員会やクラブ学校生活で、自分たちの弱ところを強くしたり、いろいろなことにチャレンジしたりできるようにがんばっていきたいです。



本日、お子さんに担任の先生から通知表が渡されました。たくさんの思いが詰まっています。後期に頑張ったこと、一年を通して成長したこと、来年度に向けて期待すること等々です。

また、児童本人が、「後期のかがやき」として、自分の頑張りについても記載しています。

子どもたちが、一年間を振り返って達成感をもつこと、そして、一つ上の学年に進級する来年度に向けて目標をもつこと、修了式をそんな節目の日としてほしいと願っています。

保護者の皆様には、この一年、学校運営に対しまして、ご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

### ☆陰の力のフォトコーナー☆



心を込めて飾り付け！



## 3/18(木)4年生：総合的な学習 ゲストティーチャーをお迎えし、 車いす・疑似体験を行ないました！



4年生は、総合的な学習の時間として、福祉をテーマに取り組みましたが、今年度は、コロナの影響で施設への訪問などを行わず、調べ学習を中心に進めてきました。

今回、町社会福祉協議会に、お願ひし、ゲストティーチャーをお迎えすることができました。

最初に、「福祉」の意味とは、みんなが幸せになること、思いやりをもって社会に参加することのお話を聞きました。

その後、松組が車いす体験、竹組が疑似体験の二つに分かれて、高齢者や体の不自由な方の大変さを体験したり、よりよく支援するための心構えを考えたりしました。

最後は、学年全体で、体験を通し感じたことの発表をし合い、交流しました。不自由のある方の目線、介助等のサポートをする人の目線の両方から考えることができていました。

エールの前日練習！

